|  |
| --- |
|  2023第1,2,3 RUTC答え25(25)(社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr |
| 2023年6月24日週間祈りカード |
| △産業宣教それが私の中にあるべき(創1:27-28) | △レムナント伝道学今日の困難は土台(伝3:15) | △核心/Remnant Day7月学院福音化 | △散らされた弟子たち私の祈り完成(使1:3) |
| 私の中に何があるべきなのか。1.創1:27　 2.創1:28の祝福　3.優先順位が変わった時刻表□序論\_祈りの基準答えが見えるほど、祈りの祝福を味わっているべき。祈りは力を味わうこと1.創6:1-8、14、18、20 祈りを正しくすれば見え始める。ノアは神とともに歩んだ(創6:1-8)「あなたのために、あなたの子孫のために、いのちを生き残れるようにするために箱舟を造りなさい」(6:14)他の人は見ることができなかったが、ノアだけが見たこと。これが産業人の基準の祈り2.創13:14-18、22:1-19 アブラハムが祭壇を築き始めた。最も大きい答えが創22章3.創26:12-25 その契約をそのまま受け継いだ人がイサク。世界宣教ができる100年の答え。神様が与えられる力を受ける基準4.ヨケベデ、イテロ、ラハブ 神様のみことばを悟れば、神様の正確なことを握るようになること5.ハンナ、エッサイ 神様の契約を正確に見れば神様がなさる6.I列18:1-15 オバデヤが神様の契約を正確に見たこと7.ダニ1:8-9 バビロンに神様の証しを見せるために偶像にささげた物を食べないと心を定めた8.使2:9-11 この人たちは、神様の契約を握って世界福音化する、その時刻表の中に入って来た9.使16:15、17:6、18:4 ピリピ教会の始まり(リディア)。ヤソンとプリスカ夫婦10.ロマ16:25-27 私の産業がこの中で見えるべき。それが祈り。□本論1.創1:271)神のかたちとして生きるべきいのち2)三位一体神様-われわれがわれわれのかたちに3)「われわれのかたちに」この力は創造の力2.創1:28 1)征服しなさい　　2)統治－治めなさい。3)所有－支配しなさい3.優先順位－時刻表1)変えなければ創3,6,11(私、私の考え、私のこと)になる2)創3:15神様の解決策。キリストを送ってサタンの権威を砕く権威を私たちに3)回復(礼拝、祈り)産業人は礼拝と祈りを正しく回復してこそみな回復する。□結論1.ネフィリムの水準は越えるべき　2.ムスリムの水準は越えるべき3.修行する人々の水準は越えるべきすべての重職者は人を見つめずに、みことばを握って回復しなければならない。産業人重職者ひとりだけ生かされても、教会が生かされる。 | □序論\_ RTの時刻表を持てば多くのことを知るようになる1.創37:1-11ヨセフ2.出2:1-10モーセ3.Iサム3:19サムエル4.詩78:70-72ダビデ5.ダニ1:8-9ダニエル6.Ⅱ列2:9-11エリシャがこのような時間を持った。7.使17:1(当為性)、18:4(礼拝)、19:8(神の国)レムナントが祈って悟ればすべての所に神の国□本論1.明日になれば今日は過去となる。1)詩90:10黄金時間が飛んで行く。青少年の時期はとても重要2)伝3:1-10時刻表が来る。3)伝3:15過去、今日、未来がみなつながる2.問題があるならば、すべて土台だ。1)ヨセフ-家庭　　2)モーセ-国家3)サムエル-教会　4)ダビデ-社会5)エリシャ-偶像　6)ダニエル-捕虜7)初代教会-属国、彼らはすべての問題を土台に3.未来(伝3:15) -過去、今日、未来がつながる1)総理-ヨセフ2)世界指導者-モーセ3)ミツパ-サムエル4)ゴリヤテ-ダビデ5)私たちが握った契約-ドタンの町運動6)バビロン(総理) -ダニエルが237か国に影響7)使19:21これがローマにつながる□結論\_ RTは霊的サミットになりなさい。霊的世界知っている人は祈りが分かる。祈りは時空を超越して御座を動かして、暗闇を砕く。 | □序論\_レムナントの時に、のがしてはならないこと3・9・3 -目に見えないように働かれる三位一体の神様、御座の祝福、時代を生かす使命このみことばが脳・たましい・永遠の背景である御座でともにあり、刻印・根・体質になれば無限大の力が出てくる。このときから、CVDIPがはっきりと出てくる。神様が与えられた契約(C)とビジョン(V)の中から出て来る、24味わうことができる確実な答えがD、答え(I)は神のかたちに従って25として来て、作品(P)は永遠なことになる。1.変えること-幸い、祈り、教会に仕えることと礼拝、天国、考え、変貌山(マタ5-7、13、16-17章)2.カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋の契約3.私たちは見張り人-見張り人はやぐらがあるべきで、やぐらの中にはプラットフォーム、見張り台、アンテナがあるべき。□本論\_ CVDIPが確実になればAll CVDIP(ガラテヤ人への手紙)1ガラ1:1-61.神様-キリストすべての宗教は人が作って神のようになるということ、それゆえ、神様が無条件に福音を与えてくださった2.他の福音を伝えれば呪われる-この福音だけが人を生かすため3.職分も神様が与えられたこと2ガラ2:201.私の中にキリストがともにおられるために、私の考え、私の主張が必要ない。神様のことだけが正しい。私の考え、私の主張が必要ないほど祝福を受けなさい。レムナント7人がみなそうした。ユダヤ人は多くの長所を持って福音を防いだ。ペテロ、バルナバさえ異邦人と食事したことを恐れた。 | 2.伝統3.制度がすべてを倒すようになっている。3ガラ3:1-141.福音と律法-教会史にいつもあった戦い2.行ない－信仰(試みにあう理由) -レムナントのとき、福音を正しく理解して、試みと葛藤、分裂は、みななくしてしまわなければならない。レムナントは、福音がすべてを終わらせたということを、深くフォーラムしてみなさい。3.本当に私と教会の問題は何か－問題ではないことを持って問題にしているのだ。世界教会が門を閉め始めたが、皆さんだけでもワンネスになって伝道運動しなければならない。4ガラ5:22-23聖霊の実1.神様に対する実-愛、喜び、平安2.人に対する実-寛容、親切、善意3.自分に対する実-誠実、柔和、自制5ガラ6:6-10蒔いたとおり刈り入れる法則霊的なこと、福音、祈り－時空を超越する。それゆえ、私は考えと息をすることをもって続けて祈る。レムナントと集まったとき、どのように集中して祈るのか確認しなければならない。□結論\_ All Change CVDIP(すべてを変える旅程)になる。 | 完全に私の祈りに対する完成をした状態でなければならない。三つの時間(準備)朝およそ三時間程度準備して考え私はあらゆる事を祈りに変える。脳が生かされるべきなので呼吸を長くしなさい。常時祈り昼にすべての出会い、できごと、現場をおいて続けて祈り夜にまことの答えを受けて癒やされる深い祈り疲れということがないのが基準だ□序論1.あらかじめ答えを味わう祈り→残りの者2.どんな状況がきても超越できる準備→巡礼者3.未来セッティングする祈り→征服者□本論\_イエスが背景を説明されたこと1.祈る理由も説明1)マタ6:1-15祈らなければならない理由と内容を説明2)マタ26:41 「誘惑に陥らないように」3)ヨハ20:22 「息を吹きかけて聖霊を受けなさい」2.最後に教えられた祈り1)マタ6:102)マタ10:7を思い出させる内容でもあるが3)使1:3確信を与えたこと「神の国のこと」3.それ以降に起きた答え1)使2:1-27(マルコの屋上の部屋教会)以降に揺れたことはない。2)使12:1-25(アンティオキア)祈って危機を克服3)使13:1-4、16:6-10、19:21全世界に出て行く働き□結論\_奪われた霊的世界を完全に生かしなさい。 |
| 2023第1,2,3 RUTC答え25(26)(社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr |
| 2023年6月25日　週間祈りカード |
| △区域メッセージ（第26週）神のさばきと25の答え(ルカ16:19-31) | △聖日1部礼拝心を安らがせる者(Ⅰコリ16:18-19) | △聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝最もすぐれた宣教の助け(Ⅱコリ1:11) |
| 伝3:15を見れば、すべてのこと、すべての人に時刻表がある。「今あることは、すでにあったこと。これからあることも、すでにあったこと。追い求められてきたことを神はなおも求められる。」となっている。□序論△根本的なことは聖日礼拝をささげるとき、平日に霊的な力を得て、霊的サミットを味わうことが一番重要だ。サミットは大統領、王に使う単語だ。それで頂上だ。RT7人のように霊的サミットになれば、すべてのことが見え始める。イエスも聖霊に満たされれば証人になると言われた(使1:8)。△未信者は自分勝手に生きて死ぬが、悪魔の子どもだ(ヨハ8:44)。救われた神様の人は神の宮だ(Iコリ3:16)。未信者は悪魔に仕えているので地獄に行かなければならず、私たちは神様の子どもになったので天国に行くのだ。問題はこれがさばきなのだが、現在の背景であることが、さらに恐ろしいことで、実際の所属がそうなっている。□本論1.永遠1)ルカ16:19-31死ぬのではなく引っ越しするだけ、永遠にある。金持ちとして生きて永遠の火の中にいるのと、乞食として生きて永遠の天国にいることと、どちらがより良いのかをたとえで説明された2)ヨハ14:1-27天国を備えたら私たちを連れて行くと言われて、「助け主聖霊があなたがたに臨めば永遠にあなたがたの中にいる」と言われた。3)黙20:1-6(Iコリ15:20)すべての人は復活することで、イエスがその初穂となられた。2.防ぐ役割1)金持ち(地獄) -それゆえ、生きている間に福音を伝えるのだ。身体を持っているときだけ救われる。それゆえ、生きていることが重要だ。2) 12 -サタンが12の戦略を使うので、止めなければならない。3)わざわい-その証拠で、さらに大きい国、立派な人に続けてわざわいが来る。3.事実化－Iコリ3:16を事実化させたのだ。1)モーセ-幼い時　　2)ダビデ3)オバデヤ-わざわいも防いで国も生かした。4)ダニエルを通してすべての知恵がみな出てきた。5)パウロ1人が英雄よりもっと大きい影響、人を生かす働きが起きた□結論\_黙想タイム1.三つの庭-三つの庭を回復する神殿を作ろうということだ。2.40日-最後(3・9・3) -イエス様が集中講義された40日に3・9・3に15の働きが入っている。3.地の果て-地の果てまで行きなさい。証人になります。それなら、私の地の果てなければならない。 | □序論\_祈りの答えを受ける霊的な情念を持つべき1.私に霊的な答えと情念になるべき契約－霊的サミット1)祈りを知って、王より優れた力を持っていたヨケベデ2)心を安らがせる者=霊的サミットの証人※トロアス主日-神殿建築が終わって受ける答えは全世界の門を閉ざす教会回復、福音がない所に教会を設立、わざわいを防ぐこと3)プリスカ夫婦(大きい試みにあったコリント教会で大きな答え)4)心を安らがせる者5人派遣－死んだ所を生かす霊的サミットの証人2.試みと問題に会った教会で霊的サミットの証拠を起こした人々1)まことの答えはエジプトで(ヨセフ、ヨケベデ、モーセ)2)まことの証人は荒野で(霊的サミットの契約を握った人)3)まことの人物はペリシテ時代に4)まことの重職者は滅ぼされるようになった時(エリシャ)(1)問題→答え　(2)葛藤→更新　(3)危機→機会5)捕虜になって行ったとき、王よりさらに優れるサミット6)世界福音化の最も大きい人物(コリント教会で) - 百年、千年、永遠の答え7)必ず握るべき契約－崩れた所とわざわい地帯を生かす霊的サミットの証人3.霊的サミットが受けた答えと証拠1)祈りの確信と答えに対する証拠　2)神様のみことばが成就する証拠3)人を生かす証拠□本論\_プリスカ夫婦と派遣された5人1.神様の心を安らがせる証人1)わざわい来た理由を知っている人(霊的サミット)2)イエスが与えられたことを知っていた人々(三つの庭、オリーブ山40日)3)イエスがなさったみことばを契約として握った人々(使1:8)2.教会を安らがせる証人1)テモテ(10節) 　2)アポロ(12節) 　3)ステファナ(15節) 　4)ポルトナトとアカイコ(17節)3.主のしもべと次世代、未来の心を安らがせる証人-プリスカとその家にある教会(地教会運動)1)使2:10マルコの屋上の部屋に出席　2)使18:1-4パウロと出会い3)使18:24-28聖霊のバプテスマ証し4)Iコリ16:19人を生かす地教会として5)ロマ16:3-4同労者、福音のためにいのちを危険にさらした人6)ロマ16:25-27この中にいる人□結論1.霊的サミットの祝福を持って世の中に出て行くべき2.神殿建築の祈りの課題－私たちの使命1)三つの庭　2)門を閉ざす教会を生かすこと3)重職者の中で祈る人1人3.霊的サミットのミッションを見つけて証人として立ちなさい(Iコリ16:13)1)目覚めていなさい　2)信仰に堅く立ちなさい　3)雄々しく強くありなさい　4)一切のことを愛をもって行いなさい | インマヌエルの神殿建築の祝福は別にある。レムナント、産業人重職者が崩れた教会を生かすほど、神様は祝福されるだろう。神様がイサクに100倍の祝福、レホボテ、泉の根源の祝福を与えられた理由は、世界宣教しなければならないためだ。門を閉ざす韓国、世界教会を生かさなければならない。奪われた祈りからはやく回復しなければならない。３団体は悪霊を信じてネフィリム 第３次産業革命の主役になった。霊的やぐらを作らなければならない。Trinityが働くことが祈りだ。御座を動かすことだ。このとき、時空超越が出てくる。私たちはこの祈りができる身分、権威を持っている。皆さんが世の中を守る見張り人になるのだ。牧会者の祈り、重職者の産業、レムナントのタラントは、プラットフォームとして作られる。他の人を生かして光を照らす見張り台。祈りの力で得た答えが世界を生かすアンテナ。祈りで最も大きい宣教を助けることができる。□序論\_神様の慰め1.あらゆる苦しみの中にいる者を慰め　2.キリストの力を体験するように3.大きな死の危機から救い- 「祈りによって私たちを協力してください」「大きな死の危機から救い出してくださるので、私たちのために祈ってください」□本論\_神殿建築は世界の門を閉ざすところを生かすのに答えを受けるほど働き。世界にいる人々を慰め。人の慰めでは、苦しみと苦難、死は解決できない。1.信徒癒やし1)ヨハ19:30キリストがすべてを完了されたので、始まりが何か教えるべき2)使1:3神の国、御座の力は、すべてを解決すること3)この祝福があなたがたに来ている(Iコリ2:12、Iコリ3:16)2.三つの庭癒やし- 24システム1)異邦人癒やし　2)子どもたち癒やし　3)病んだ者癒やし3.237指導者癒やし1) RT７人は王の前に立った。強大国の王に会ってこそ(237)になる。2) 237か国の教会指導者を呼んで伝道するように訓練させなければならない。3) TCK来ている人々だ。のがしてはならない。□結論1.礼拝のとき、最も重要な祈りをしなければならない。ユダヤ人は(安息日)にいのちをかけるのに、間違った答えが来る。2.この契約を持って平日にはユダヤ人、ムスリムが徹底的に(定刻)祈りする。3.私たちはこれを超えることができる24、25、00祈りを握らなければならない。みことばを握って24祈りの中に入って、すべてができなければならない。このとき、力が生まれて25の答え、癒やしが起こる。神の国が臨む働きが起こる。これを教えることができる神殿を作らなければならない。 |